

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ）チュウキョウダイガク	フリガナ）ケイザイガクブ	フリガナ）ヨシノゼミ
中京大学	経済学部	吉野ゼミ

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ）アヤタカ	フリガナ）オジオ ユウト	5人	無
AyAtAkA	小塩 悠斗		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）

パソコン、プロジェクター

研究テーマ（発表タイトル）

STOP！交通事故！ ～交通事故減少による暮らしやすい社会へ～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

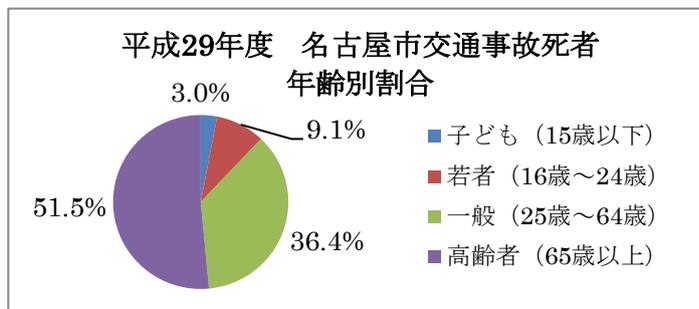
1. 研究概要（目的・狙いなど）

平成28年度の都道府県別交通事故死者数は愛知県が最も多かった。愛知県の死者数は平成28年度212人であり、2位である千葉県の185人と比べても国内で突出して多い。また、愛知県は14年連続で最も交通事故死者数の多い県である。加えて、交通事故死者数だけでなく人身事故件数も国中で最も多い。名古屋市では今年度の死者数が昨年度よりも11人増加している。このような交通事故の現状から名古屋市に通う学生として交通安全に関心を持った。交通事故死者数と人身事故件数の減少に向けてどのような取り組みが行われているのか調査するとともに、名古屋市が交通面においてより良い社会になるために必要な取り組みを考える。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

平成29年度の名古屋市交通事故死者の51.5%が高齢者である。また高齢者が被害者となるケースだけでなく、近年では高齢者によって引き起こされる交通事故が増加している。そのため、少子高齢化の進む名古屋市において高齢者の交通対策が重要である。しかし、交通事故負傷者や加害者には高齢者よりも若者が多い。交通事故を減らすための対策は、高齢者だけでなく全世代を対象にして考える必要がある。

実際の名古屋市の交通事故対策は、被害者や加害者の交通安全意識を高めるためのリーフレットの配布やコマースナルなど呼びかけによる対策が多い。現在、交通事故死者数が増加していることから、死者数を減らす取り組みとして呼びかけによる安全意識の向上は効果的とは言えない。意識の向上とともに、より実用的な対策が必要と考える。



出典 名古屋市公式ウェブサイト（参考文献より）2017/10/4 参照

3. 研究テーマの課題

我々の課題は三つある。一つ目は、若者の運転経験の少なさによる運転技術の低さや、自分自身の運転技術の過信である。二つ目は、高齢者の身体能力や注意力の低下が交通事故を引き起こすことである。三つ目は名古屋市では移動手段として車を利用する人が多く、それが交通事故を誘発する原因となっていることである。名古屋市では呼びかけによる対策は多く実施されているため、以上三つの課題に対し、設備や制度側から見た対策を中心に考えていきたい。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

課題に対して設備による対策を企業の観点から考える。また、制度による対策は行政の観点から対策を提示する。

- ①企業側の対策としてはドライブレコーダーと自動運転をあげる。
- ②行政側の対策としてはインフラ整備を取り上げる。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

インターネットを利用して、名古屋市の交通事故の現状や実際に行われている対策を調査した。また、調査した情報の中から効果的な対策を課題解決策として取り上げ、より多くの情報収集を行った。

6. 結果や今後の取り組み

名古屋市では現在さまざまな交通安全対策が行われている。しかし、交通事故死者数は増加傾向にある。今回紹介した対策により、交通事故死者数の減少だけでなく市民が安心して暮らせる社会になることが期待される。また、自動運転や公共交通機関の整備によって高齢者を中心とした移動困難者を削減することができる。名古屋市が交通面において暮らしやすい社会になることを期待する。

7. 参考文献

名古屋市公式ウェブサイト 市内の交通死亡事故発生状況（参照 2017/10/4）

<http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/0000013783.html>

愛知県警察 平成 28 年 愛知県交通事故発生状況（参照 2017/10/4）

<https://www.pref.aichi.jp/police/koutsu/jiko/koutsu-s/documents/aichinokoutsuuzikohasseizyoukyou2812.pdf>

警察庁 平成 28 年における交通事故の発生状況（参照 2017/10/16）

<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001176564>

内閣府 道路交通における新たな目標への挑戦（参照 2017/10/18）

http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/h28kou_haku/gaiyo/features/feature02.html

警視庁 防ごう！高齢者の交通事故！（参照 2017/10/23）

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotsu/jikoboshi/koreisha/koreijiko.html>

ネットあいち（参照 2017/10/25）

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiikianzen/0000078062.html>

名古屋市公式ウェブサイト 交通安全対策（参照 2017/10/25）

http://www.city.nagoya.jp/main/site_policy/0000000014.html

名古屋市公式ウェブサイト 「交通事故死ゼロを目指す日」の実施について（参照 2017/10/30）

<http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/0000011761.html>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、著作権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑